

幼小接続の取組がもたらすもの

- 生活科「作ってためして」の計画の際、作ったおもちゃをどうしたいかを問いかけたところ、「自分たちで遊んでみる」ことよりも前に「1年生や幼稚園の子に遊んでもらいたい」という意見が出た。児童にとって1年生や幼児と交流することは学習の一部となっていることがうかがえる。
- 交流の際は場や相手に応じてルールを変えるなど、相手に合わせて行動する姿が見られた。また、2年生が製作したおもちゃに刺激を受けて、幼児は自分たちの遊びに取り入れていた。
- 幼児・児童の双方にとって交流活動は学び合いの場となっている。

つくったものをどうしたいか

- 1年生にあそんでもらう
- おうちの人 ようちえん
- ほかの学年の人 ほいいん
- じぶんたちでもあそんでみる
- せつめいしよを書く。

○やってみてたしかめる。

○かいいょうする。

生活科 作ってためして



1年生との交流

幼稚園児が作ったおもちゃで
2年生が遊ぶ



幼稚園児との交流

